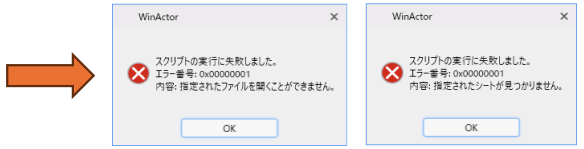
WinActor初級者セミナーQ&A（2026/9/29開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
1	Excel操作	Excelの値の取得について、セル内に長文が入っていた場合に値の取得ができませんでした。 Excelの値の取得で取得可能な文字数のマックスが知りたいです。	考えられる要因としては、主に以下の2点がございます。 ・変数の文字数制限に達している 変数に値を格納している場合、WinActorの設定で定義されている文字数上限に達している可能性があります。 対象のシナリオを開き、[シナリオ情報(Ctrl+E)]-[その他]-[変数値の文字数を制限する]にチェックがついているかご確認ください。 チェックがついている場合、変数値の文字数が1024文字以内に制限されますので、チェックを外して再度お試しください。 ・Python版ライブラリの既知事象 Ver.7.6.1 以前のPython版「Excel操作」ライブラリにて、256文字を超える値を取得できない事象が確認されております。 本事象は Ver.7.7.0 で修正されておりますので、旧バージョンをご利用の場合は、最新版へのバージョンアップのうえ、ライブラリ最新化を実施してください。
2	シナリオ設計	繰返しのノードに複数種類があると思うのですが（後判定繰返しなど）、基本的な使い分けのルールなどありますでしょうか？	WinActorの繰り返しノードには、以下の2種類があります。 ・繰り返し：繰り返し条件を判定し、条件を満たしている場合に処理を実行 ・後判定繰り返し：最初に必ず1回処理を実行し、それ以降は繰り返し条件を判定し、条件を満たしている場合に処理を実行 シナリオの作り方を工夫することで、どちらのノードでも同様の処理を実現できます。 そのため、初心者の方には、まずは基本となる「繰り返し」ノードを使用することをおすすめします。 まずは実際にシナリオを作成しながら動作の違いを確認し、必要に応じて使い分けていただければと思います。
3	シナリオ設計	フローを作成するうえで同じ結果を得ようとした際、作り方として何通りかはできると思いますが、その中でも簡略化できるよくあるパターン集などはございますか？	現時点では、パターン集としてまとまった資料のご用意はございません。ご了承ください。 ご質問のとおり、WinActorでは同じ処理を実現する方法が複数存在する場合があります。 例えば、ExcelのA列・B列・C列から値を取得する場合でも、以下のような方法があります。 ・ノードを3つ並べる ・ライブラリを3つ並べる ・ノードまたはライブラリを3回繰り返し実行する ・複数セルの値をまとめて取得できる特別なライブラリを利用する ただし、どの方法が常に優れているというわけではありません。 上記の「複数セルの値をまとめて取得できる特別なライブラリ」は実装が簡単になる一方で、シナリオの内容が分かりにくくなる場合があります。 シナリオ作成時には、何を重視するかによって最適な実装方法が変わります。 （処理速度、シナリオのシンプルさ(=ノード数の少なさ)、メンテナンス性、可読性(見やすさ・分かりやすさ)、など） なお、本セミナーでは「処理内容が見て理解しやすいこと」を重視した方法をおすすめしております。

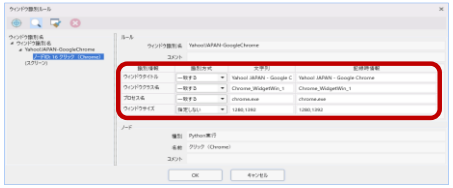
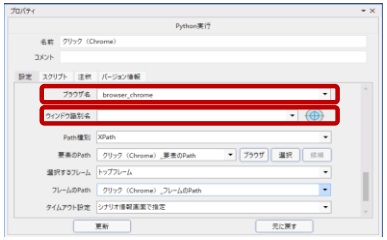
WinActor初級者セミナーQ&A（2026/9/29開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
4	XPath	画像マッチングや自動記録を使うと、画像の大きさが変わると上手く読み込めないので、XPathの方がいいとベンダーから聞きました。XPathは初心者には難しいのですが、何かいい方法はありますでしょうか？	ご質問のとおり、XPathを利用することでブラウザ上の要素を安定して特定できます。 ただし、XPathによる位置指定が利用できるのはブラウザ内のHTML要素に限られます。 ExcelやWordなど、その他のアプリケーションに関しましては、XPathでの位置指定はできません。 XPathは画面上の見た目ではなくHTML構造を基に要素を特定するため、画面の色やデザインが変更された場合でも、対象の構造が変わらなければ継続して認識できます。 一方で、初心者の方はXPathの仕組みそのものに難しい印象を持たれる方も少なくありません。 本日のセミナー内「手動でシナリオを作ってみよう」でご覧いただいた動画では、設定画面の「選択」ボタンを押した後、ブラウザ上へカーソルを合わせることで、XPathを取得できる場所の色が変わる、というものがありました。 こちらをご活用いただくことでXPathを意識することなく、ボタンを押してカーソルを合わせるだけでXPathを指定できます。 今回セミナー内でご紹介したHTMLおよびシナリオファイルは、参考資材として配布しております。 対象ノードのプロパティから「選択」ボタンを押し、対象要素にマウスカーソルを合わせて選択することで、簡単にXPathを取得できますので、ぜひお試しください。
5	画像マッチング	システム画面内のURLが毎回変わり、画像マッチングができない場合の対処方法が知りたいです。	画面に表示されるURLで「https://」などの共通部分がある場合は、共通部分のみを赤枠のマッチング画像で指定してお試しください。 URLで共通部分はないが表示位置は変わらない場合は、エミュレーションでクリックをお試しください。
6	トラブルシュート	運用中のブラウザ操作のシナリオについて。 ブラウザ拡張機能をインストールはしているのですが、ブラウザ起動の際に「ブラウザとの接続に失敗しました。拡張機能が正しくインストールされているかご確認お願いします。」 となってしまう場合があります。 回避方法はありますでしょうか？	こちらは、インストールいただいた拡張機能とWinActorとの間で接続ができない場合に表示されるエラーメッセージです。 ■考えられる要因 ・お客様の環境のセキュリティソフトやポリシーの影響により、通信がブロックされ接続できない。 ・拡張機能利用時に実行されるプロセスが二重起動しており、正常に接続できない。 上記をご確認いただき、それでも解決しない場合には、エラー画面やログを添えて、お取引・お問合せされている販売店へご相談ください。
7	トラブルシュート	Webシステムに文字を入力する際に値の設定ノードを使うと、文字がグレー表示になり、システム側で「入力されていない」というエラーになります。	JavaScriptを利用したWebシステムでは、「値の設定」ライブラリで設定した値が入力済みとして認識されず、未入力エラーとなる場合があります。 「23_ブラウザ関連」の「値の設定(入力再現)」ライブラリで正常に入力できるかご確認ください。 ※「値の設定(入力再現)」ライブラリは WebDriver 操作でのみ利用可能です。 　ブラウザ拡張機能をご利用で、入力する値が半角英数字の場合は、画像マッチングで入力欄を左クリックしてフォーカスを当てた後、 「文字列送信」ノードや「エミュレーション」による入力をお試しください。 上記で改善しない場合は、値の入力後にフォーカス移動を実施して事象が改善されるかご確認ください。

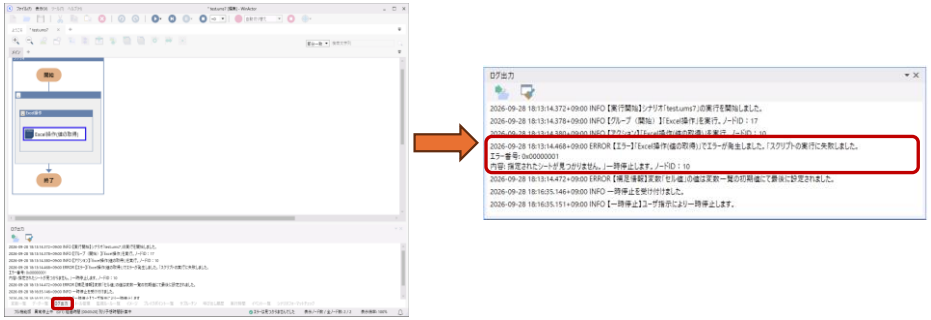
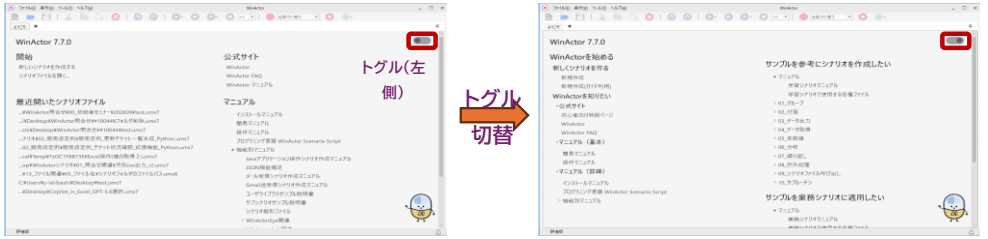
WinActor初級者セミナーQ&A（2026/9/29開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
8	トラブルシュート	エラー内容を見て、何が原因か分かりますか。	基本的に原因が分かりやすいエラーメッセージを出力しています。 例１）Excel操作 「指定されたファイルを開くことができません」 → ファイル名を確認 「指定されたシートが見つかりません」 → シート名を確認  例２）ブラウザ操作 「指定された要素が見つかりませんでした。Path = XXX」 → 要素のXPathを確認  また、Ver.7.7.0以降ではAIヘルプ機能(無償で利用可能)を搭載しています。 エラーメッセージやログファイルを指定してAIへの質問をお試しください。
9	トラブルシュート	「このデータを貼り付けることができませんでした。時間がかかりすぎています。 選択範囲のサイズを縮小してみてください。リモートコンピューターからコピーしている場合は、ネットワークのパフォーマンスが原因である可能性があります。」とエラー表示されて止まります。	・エラーメッセージからリモートデスクトップ接続を使用して、クリップボード経由でデータをローカルPCから、 リモートデスクトップ接続PCへコピー＆ペーストを実施していると推測します。 ・コピーするデータサイズが大きい(大容量ファイルや大量のデータ)、ネットワーク帯域が狭いなどの要因により、 WinActorが原因ではなく手動操作でも発生すると考えられます。 ・対策としては、クリップボード経由のコピーではなく、 ローカルPCとリモートデスクトップ接続PCでアクセス可能な共有フォルダを用意して、ファイルやデータのやりとり等を検討ください。

WinActor初級者セミナーQ&A（2026/9/29開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
10	トラブルシュート	自分のPCで作成したシナリオを、他の人のPCで実行すると、 「ウィンドウ識別ルール　指定されたブラウザが見つかりません」のエラーが出て、進みません。 ブラウザやWinActorのバージョン、ウィンドウタイトルも差異はないです。何が原因ですか。	ウィンドウ識別ルールに一致するウィンドウが存在していない状態となります。 端末間でウィンドウタイトルが同一とのことで、ウィンドウクラス名などもウィンドウ識別ルールと同一であるかご確認ください。  ブラウザ操作はブラウザ名のみの指定で実行できます。「ブラウザ起動」でブラウザ名を指定してお試しください。 もしくは、「ブラウザ名を付ける」で1度ウィンドウ識別名で起動済みのブラウザタブを選択後は、ウィンドウ識別名の指定が不要となります。 
11	トラブルシュート	「印刷設定」の画面操作をエミュレーションで設定しても、画面表示まではいくのですが、その先が動かずに困っています。原因等あるでしょうか。	・印刷設定の画面がアプリケーションと別ウィンドウとなっている場合があります。 画面表示後にエミュレーションノードのウィンドウ識別名から改めてウィンドウ選択をお試しください。 ・また、エミュレーションによる連続した操作がうまくアプリケーション側で処理できていない場合もあります。 キー操作やマウス操作の間で待機時間の設定もお試しください。
12	トラブルシュート	昨日まで動いていたシナリオがWindowsやChromeのアップデートで使えなくなることがあります。	・多くの現場で発生する代表的な課題です。 ※アップデートによるセキュリティ強化や仕様変更が原因となるケースが多くあります。 ＜予防のコツ＞ 1. 自動記録など、変更に強い方法でシナリオを作成する ※アップデートの影響は避けられないため、「影響範囲を限定する設計」がポイントです 2. シナリオの重要度に応じて予防対処の優先度設計が大切です。(全対応は稼働が青天井に増大) ＜解消のコツ＞ 1. ログからエラーが発生する箇所を特定し、再記録・再設定する 2. ブラウザ操作の場合はWebDriverや拡張機能のバージョンを確認し、最新化する 3. Windowsやブラウザのアップデート内容や設定変更（セキュリティ・ネットワーク等）を確認する 4. 検証用端末など切り分け可能な環境で影響範囲を確認する

WinActor初級者セミナーQ&A（2026/9/29開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
13	トラブルシュート	教材等で操作を一通り行ったが、実際にシナリオを作成しようとするとうまくいきません。	シナリオでエラーが発生している場合は、ログでエラーメッセージと発生箇所をご確認ください。  Ver.7.7.0以降ではAIヘルプ機能を利用して、エラーメッセージやログファイルを指定してAIへ質問いただけます。
14	運用・定着支援	ライブラリの基本的な使い方や好事例として、画像認識はどの項目のほうがいいかなど教えてください。	・WinActorでは、学習シナリオや業務シナリオとしてサンプルを同梱しています。 （ようこそ画面の右上の切替ボタンで上記シナリオを表示できます）  ・画像認識によるクリックなどのマウス操作については、まず画像マッチングをお試しください。
15	運用・定着支援	サンプルは公開されていますか。	・WinActorでは学習シナリオや業務シナリオとしてサンプルを同梱していますので、ご確認ください。 （ようこそ画面の右上の切替ボタンで上記シナリオを表示できます） ・また、WinActor公式サイトではExcel操作、ブラウザ操作、ファイル操作等を中心に、 簡単な事例をベースとしたサンプルシナリオを提供しています。 https://winactor.biz/samplescenario/ ※本コンテンツのご利用にあたっては「WinActor Brain Cloud Library® サービス利用規約」が適用されます。 
16	セミナー情報	過去の講義資料はどこにありますか？	過去のセミナーアーカイブ動画およびQ&Aは、WinActor公式サイトに掲載しております。 ■メーカー直伝！WinActor初級者セミナー https://winactor.biz/rpa/WinActorSeminarArchive.html なお、講義資料が必要な場合には、お取引・お問合せされている販売店へご連絡ください。